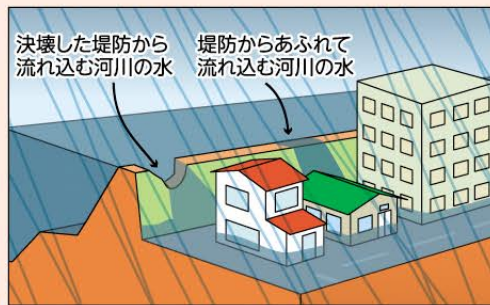


徒歩避難エリア

外水氾濫とは(多摩川の洪水)

外水氾濫(洪水)は、増水した河川から水があふれた際に起こる現象です。堤防の決壊により短時間で水が流れ込み、浸水被害が発生するおそれがあります。



多摩川浸水想定区域図(想定最大規模)

この地図は、国土交通省が公表している多摩川・浅川・大栗川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)を基に、台風や大雨によって引き起こされる多摩川の氾濫を想定して示した図です。

浸水想定区域(想定最大規模)とは…

雨の降り方が類似する同じ地域内で観測された過去最大の大雨(多摩川の流域で48時間の総雨量588mm)が降った場合に、多摩川が氾濫したことを想定しています。

作成主体: 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 指定年月日: 平成28年5月30日

※「多摩川水系浸水想定区域図」についての詳細のお問い合わせは、下記までお願いします。

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 [電話] 045-503-4000

多摩市

【地図をご覧ください際の注意点】

- ◆地図に示した浸水の予想される範囲や深さは、任意の想定に基づいたシミュレーションの計算結果であり、土地の危険性を示すものではありません。また、浸水の予想されない範囲の安全性を保証するものでもありません。
- ◆地図に示した浸水の予想される範囲以外でも、状況によっては浸水する可能性があります。
- ◆浸水の予想される範囲及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。